

稲作情報

(春作業特集:育苗、土づくりなど)

令和3年度第9号

令和4年3月15日発行

福島県喜多方農業普及所、JA会津よつば、
喜多方市、北塩原村、西会津町

播種準備

【塩水選の濃度の目安】

区分	比重	水10L当たり(kg)	
		食塩	硫安
うるち	1.13	2.1	2.7
もち	1.10	1.6	2.0

(1) 塩水選

- ・ばか苗病やもみ枯細菌病に感染している種籾を除去するため、消毒済、未消毒を問わず種籾の塩水選を行います。

(2) 種子消毒

- ・購入した種子が「未消毒種子」の場合は、必ず薬剤や温湯による種子消毒を行いましょう。
- ・プロクロラズ剤（商品名：スポルタック乳剤、スポルタックスターナSE）に耐性を持つばか苗病菌が確認されています。前年にこれらの剤を使用したにも関わらず、ばか苗病の発生が見られた場合は、今年は異なる剤（テクリードCフロアブル、ヘルシードTフロアブル等）を使用してください。

(3) 浸種（水浸し）

- ・浸種時の水温は10～15℃とし、浸種期間は積算水温で100℃（浸漬水温×日数）を目安にします（例えば水温10℃なら10日程度です）。温度計を設置して、水温を確認しましょう。ひとめぼれ、天のつぶ、五百万石は2日程度長く浸種しましょう。
- ・浸種時の水量は、種籾重量の2倍以上で行いましょう（例：種籾10kgに水20L）。
- ・水の入れ替えは、浸種3日目以降1～2日ごとに行い、籾に酸素が十分に供給されるようにしましょう。なお、種籾量は4～5kg/袋とし、種籾ネットに詰めすぎないようにしましょう。

(4) 催芽（芽出し）

- ・催芽温度は、細菌病の発生を抑えるため28℃とします。
- ・籾が「ハト胸」（発芽長1mm）状態になるように、確認しながら行ってください。

育苗管理

【目標とする温度管理】

苗の生育ステージ	日中	夜間
催芽・出芽時	28℃	
緑化（第2本葉展開前）	25℃	12～15℃
硬化（第2本葉展開後）	20℃	10℃

(1) 出芽

- ・育苗器を使用する場合、細菌病の発生を抑えるため温度は28℃とします。
- ・例年、苗焼けが発生しています。使用する被覆資材の特性を確認した上で温度管理に努めてください。

(2) 緑化

- ・出芽して5～10mmになったら被覆資材を外し、緑化に移行します。
- ・苗は強い光に当たると白化してしまうため、寒冷紗などをかけて日光に慣らしていきます。

(3) 硬化

- ・緑化から硬化に移る際は、2～3日かけて外気に慣らします。
- ・換気をこまめに行い、できるだけ外気と日光に当てましょう。

※適切な温度管理を行うためには、必ず苗に近い位置に温度計を設置してください。

春の肥培管理等

(1) 土づくり

- ・堆肥などの有機物・・・土壌の保肥力や保水力が向上し、気候変動による水稻への影響が小さくなります。
- ・ケイ酸質資材・・・稲体を丈夫にし、耐倒伏性・耐病性が高まります。
- ・含鉄資材・・・ガス湧きや秋落ち、ごま葉枯病の発生を抑制します。

<施用例>牛糞堆肥 1 t /10a、とれ太郎、ケイカリンバリュー、田んぼマスターなど

(2) 稲わらのすき込み

- ・稲わらの春すき込みは、田植え時の浮きわらやガス湧きにより生育が停滞する恐れもありますが、たい肥の施用とほぼ同等の土づくりの効果がありますので、稲わら分解促進剤を施用するなど、燃やさずにできるだけ早めにすき込みましょう。

(3) 基肥施肥の目安

- ・各品種の施肥量（窒素分量）は、右の表を目安にしてください。
- ・一発肥料を使用する場合や側条施肥、苗箱施肥等を行う場合は、土壌条件を加味しながら減肥などの調節を行ってください。

	窒素分量(kg/10a)		
	基肥	追肥	合計
コシヒカリ	4	2	6
ひとめぼれ	6	2	8
天のつづ 里山のつづ	6~8	2	8~10
ふくひびき	7~8	2~3	9~11

主食用米からの転換

人口減少や長引く新型コロナウイルス感染症の影響により米の需給環境は大きく変化し、令和4年産においても主食用米の減産が求められる情勢となっています。

このため、引き続き主食用米から飼料用米等へ作付転換を図るとともに、麦・大豆や高収益作物の野菜、飼料用トウモロコシ等への作付転換をお願いします。

◎水田活用の直接支払交付金等の助成制度を活用しましょう。

肥料価格の高騰について

昨今、肥料原料の価格高騰に伴い、肥料の価格も高騰しています。このため、以下の取組を参考にしながら肥料コストの低減に努めましょう。

- ・土壌診断に基づく施肥（肥料の省力・適正化）
- ・稲わらの秋すき込み（地力や保水力の向上）
- ・海外市況に影響されにくい地域資源（堆肥等）の活用

※活用できる有機質堆肥の情報は喜多方農業普及所で提供しています。

★本情報の内容や米づくりに関するお問い合わせ、相談はこちらへどうぞ

会津農林事務所喜多方農業普及所

TEL 0241-24-5744

J A会津よつば喜多方営農経済センター営農振興課

TEL 0241-21-1801